

宮城県泉館山高等学校 部活動に係る活動方針

【本校における部活動の意義】

部活動は、学校教育の一環として、スポーツや文化に興味と関心を持ち、また同じ目的を持った生徒が、学級や学年を超えて自主的・自発的に活動することにより、人間性や社会性を磨くことができ、困難を乗り越えようとするたくましい心を育むことができる等の教育的意義がある。

1 基本方針

○生徒一人一人が主体的・意欲的に部活動に参加することで、「自己の力・技量の向上」、「努力することによる達成感や充実感」等を得られる活動となるよう、本校では以下の方針を掲げる。

- (1) 部活動と学習活動の両立を目指して日頃から集中と切り替えを実践し、合理的で効果的な活動を展開する。
- (2) 互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことで、学級内とは異なる人間関係を養う。
- (3) 部活動顧問は、技術指導による競技力や技術力の向上の他、生活指導・学習指導にも積極的にに関わり、部員一人一人の学校生活が充実したものとなるよう指導する。
- (4) 参加する大会・競技会・コンクールでの上位進出を目指すことで、多くの生徒が成功体験を得るようにし、ひいては自己の進路実現の糧となるよう、より一層の部活動の活性化を図る。

2 適切な部活動運営のための体制

- (1) 各部顧問は、年間の活動計画（活動日、休養日、参加大会や遠征の日程など）並びに月ごとの活動計画を作成する。
- (2) 各部顧問は、生徒・保護者に対して年間計画を示すとともに、月ごとの予定表を配布し、計画的な部活動運営を行う。
- (3) 顧問と副顧問で協力し、指導内容の充実や生徒の安全確保に努めるとともに、一部の顧問に負担が偏らないようにする。

3 適切な休養日等の設定

- (1) 休養日は少なくとも平日1日以上、週休日1日以上、週2日以上とするが、部の特性等で週末に活動した場合は、原則として、年間休養日の平均が週2日以上（年間105日以上）となるよう休養日を他の日に振り替える。
- (2) 活動時間は、平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度（練習試合や大会等を除く）とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

4 その他

- (1) 朝練習については、原則禁止とする。ただし、大会やコンクール等の前など特別な事情があると認められた場合のみ活動を認める。